

三省堂 国語教育

ことばの学び

a new way of learning Japanese



平成24年度版

『中学生の書写』教科書特集号



三省堂



はじめてのお礼状

唐仁原教久

もう46年ぐらい前のことです。

中学校に入学したとき、お祝いとして父から万年筆をもらいました。今にしてみれば、実に簡素なスポイト式の万年筆ですが、柄のところに自分の名前が刻まれていて、それが嬉しくて筆記用具に特別な思いを寄せた最初のような気がします。それまで使っていた鉛筆とは異なった筆圧に、心が躍り、たわいもなく努力・根性・勇気などの言葉を書き続けた思い出があります。

十歳離れている姉が新婚旅行に行き、お土産に当時憧れていた戦艦大和のプラモデルを送ってくれました。多くの部材や設計図の入っている箱を開け、気もそぞろに机に向かっていると、「お礼状を書いてからやりなさい」と母に注意されました。渡された葉書にぶっつけ本番で臨んだせいか、もらった万年筆で初めて書いたお礼状だったにもかかわらず、なんとも不出来な結果でした。

コップの水を垂らしインクの滲んだ葉書を見せ、もう一枚葉書もらった記憶があります。



『中学生の書写』の表紙絵は、
中学生たちの日常的な書字場面をモチーフに、
唐仁原氏が描いたものです。



とうじんばら のりひさ／
1950年鹿児島県祁答院町の
生まれ。1985年にHBギャ
ラリーを開廊し、以来若手
イラストレーターの発掘に
尽力。イラストレーター、
ADとしても多くの作品を
手掛ける。



三省堂 国語教育

ことばの学び

a new way
of learning
Japanese



平成24年度版『中学生の書写』教科書特集号

CONTENTS

02 私が中学生だった頃 文学少年の恩師 小関智弘

日常の学習や生活に生きる書写の学びを実現します。

04 日常に生きる書写 平成24年度版『中学生の書写』基本コンセプトと教科書のしくみ

『中学生の書写』の5つのポイント

06 ① 考えることを大切にしたい書写教育を目指して ▶
学びを生活や他の学習にひらくために 松本仁志

08 ② 基礎習得における毛筆学習の重要性 ▶
毛筆のチカラ 小西憲一

10 ③ 行書学習の意義 ▶
行書学習の入り口と出口 新田直美

12 ④ 身のまわりの文字への関心と、効果的に書くこと ▶
身のまわりの文字から学び、生かす 谷口邦彦

14 ⑤ 書写技能の運用能力を身につける授業 ▶
感謝の心を自分の言葉と文字で伝えよう 小林比出代

16 変わる中学校の古典学習 第2回 古文の学びを深め楽しむ 日高辰人

18 常用漢字になりました。 第2回 「食」に関する漢字 菅原宏之

20 教育と数字 第2回 日本語指導に関する対応とは 尾木和英

エッセイ

私が中学生だった頃

文学少年の恩師

作家 小関智弘

戦争中に小学校を出て、「これからは工業の時代だ」という魚屋の父親のひと言で工業学校（旧制）に進んだがすぐに敗戦。学制の変革で、同じ学校で新制中学と高校の六年間を学んだ。その間に工業教育の禁止があつて、校名は一時普通高校になったが、卒業前にまた工業学校に戻った。そのため私は工業教育をほとんど受けなかったのに、学歴だけは工業高校卒となっている。それなのに卒業すると町工場の見習工になったのだから、余計にややこしい。敗戦直後の日本の工業は壊滅状態で、ようやく復興の兆しが見えるのは、私が高校を出た一九五一年頃だったのである。

その中学高校の六年間、私は生徒会活動（今の部活）に文芸部を選んだ。今にして思えば、戦争中は軍国主義教育を強制された教師が、敗戦を境に、同じ生徒に手探りで民主主義教育をしなければならぬ時代であつた。若くて情熱的な国語教師の野口隆雄先生が文芸部の部長となつて指導してくれた。先生の手書きのガリ版刷りで文集が発行された。部室には手巻きの蓄音機が置いてあつた。魚屋のせがれとして育った私は、そこで先輩たちが詩を朗読したり、バッハのフーガがどうのこうのと言ひ合うのを、遠巻きに眺めた。投稿を勧められて、初めて文集に載つた俳句の一つを、今も憶えている。北風に追われて走るジープかな。というものであつた。占領軍のアメリカ兵が乗るジープが、京浜国道を疾

130



こせき ともひろ／
1933年、東京都生まれ。
都立大学附属工業高校卒。
複数の町工場で旋盤工として働いた。
かたわら、体験をもとに作品を発表。
『大森界限職人往来』『職人学』など。

走する姿は、敗戦国の少年の目には驚異でもあり羨望の的でもあった。

野口先生は、国語の授業でもよく脱線した。ある日、自分の日記帳を読み始めた。学校に隣接する寮に住む独身の先生は、隣室の英語の先生の授業が低調で、生徒たちの評判がよくないのを知っていたらしい。日記は英語の先生の奥さんから差し入れられるお新香が特別に美味だった話に始まるが、やがてその先生がある夜バイオリンを持ってやって来て、G線上のアリアを弾きはじめたが、ふと気がつく、日頃あまり感情を表さず教壇でブツブツと英語をしゃべるためにアジェクティブというあだ名のある先生の目から涙があふれていたという話になったとき、教室のあちこちから深いため息がもれたのであった。

またある日、「将来の夢」という作文に、生徒の多くが「平凡がいい」と書いたことに激しく怒り、「未来のある君たちが平凡を求めるとはなにことか」と、教壇で涙を流した。

高校生になったある日、校長の許可を得たからと授業中の私をひとり連れ出して、封切館で反戦映画「また逢う日まで」を観せてくれたのも野口先生であった。昼の弁当もままならず、育英資金での通学だった私を気づかってくれてのことだろうと喜んだら、翌日の朝礼台に立たされて、全校生徒の前で映画の感想をしゃべらされた。

そんな六年間が、後に旋盤工になって働きながら文章を書く私の揺籃期であった。



『中学生の国語 一年』に、
小関智弘先生の「信頼をつなぐ」を掲載しています。

日常の学習や生活に生きる書写の学びを実現します。

日常に生きる書写

平成24年度版「中学生の書写」基本コンセプトと教科書のしくみ

基礎・基本がしっかりと身につく構成

各教材は、次の①②③の流れで構成されています。学習の流れを一望できる紙面構成で、何をどのように学ぶのかという見通しをもって、授業に臨むことができます。

① 学習目標に自ら気づく

文字の書き方について考え、自分でなんらかの規則性に気づくことで、学習への意欲が高まります。

考えよう・話し合おう

気づいたことをまとめよう

教材 教材 教材

単元

「学習を生かそう」

日常に生かす

見通しをもって学ぶ

④ 学習を生かそう

1 行書の特徴を確かめながら、共通する部分をもつ漢字を順番で書こう。

2 教科書の右側を行書で書こう。

国語 英語 社会 美術

② 画の終わりと次の画の始めが直接つながる場合（直接連続）

1 画がないところに連続線が出る場合（至順の連続）

2 画の終わりと次の画の始めが直接つながる場合（直接連続）

1 画めと2画めがつながる。

全部つなぐと読みにくくなるので注意が必要です。

③ 筆順の連続・直接連続

④ 筆順を生かして書こう

⑤ 筆順の連続

⑥ 筆順の連続

⑦ 筆順の連続

⑧ 筆順の連続

⑨ 筆順の連続

⑩ 筆順の連続

⑪ 筆順の連続

⑫ 筆順の連続

⑬ 筆順の連続

⑭ 筆順の連続

⑮ 筆順の連続

⑯ 筆順の連続

⑰ 筆順の連続

⑱ 筆順の連続

⑲ 筆順の連続

⑳ 筆順の連続

㉑ 筆順の連続

㉒ 筆順の連続

㉓ 筆順の連続

㉔ 筆順の連続

㉕ 筆順の連続

㉖ 筆順の連続

㉗ 筆順の連続

㉘ 筆順の連続

㉙ 筆順の連続

㉚ 筆順の連続

㉛ 筆順の連続

㉜ 筆順の連続

㉝ 筆順の連続

㉞ 筆順の連続

㉟ 筆順の連続

㊱ 筆順の連続

㊲ 筆順の連続

㊳ 筆順の連続

㊴ 筆順の連続

㊵ 筆順の連続

㊶ 筆順の連続

㊷ 筆順の連続

㊸ 筆順の連続

㊹ 筆順の連続

㊺ 筆順の連続

㊻ 筆順の連続

㊼ 筆順の連続

㊽ 筆順の連続

㊾ 筆順の連続

㊿ 筆順の連続

元氣

元氣

元氣

③ 学びを振り返る
自己評価・相互評価のための観点を明確に示しています。

② 主体的に練習する
①で把握した学習事項に焦点を当てた練習課題を用意しています。
気づきを生かして書こう
毛筆で確かめよう
32ページ

32ページの中身





「学習を生かそう」は単元のまとめです。硬筆課題の手本をあえて同一紙面上に示さないなどの工夫をし、日常の書字場面に生きる力が育まれるよう配慮しています。

◆回-1 形の変化◆

木	又	貝
集	反	貝
張	灰	灰
	背	背

◆回-1 筆順の◆

木	又	貝
集	反	貝
張	灰	灰
	背	背

◆回-2 方向の変化◆

ヒ	竹
北	第
背	灰
	背

◆回-2 直接連◆

類	語
音	衆
保	健
技	術
	家

③ 学習を生かして、自分の名前を書き添えて書こう。

19

学びの道筋がはっきり見える教材が学習意欲を喚起し、基礎・基本がしっかりと身につきます。そして、身についた力を日常に生かしていけるような学習活動が効果的に配置されています。

学んだことが日常に生きる教材

② 手紙を書くよう。

行書と仮名の調和に気を付けて書く。

●宛名
行頭にそろえて書く。
(直体の場合は「～御中」)

●日付
本文より二文字程度下げて書く。

●用語の位置
(一文字下げて書く場合もある。)

●署名
行末にそろえて書く。

●封筒(横)

●封筒(縦)

●封筒(横)

●封筒(縦)

ありがとうございました!!
3年C組 桑田耕介様

あなたはこの3年間、卓球部の仲間としていつも私を励ましてくれました。初めての試合の前に行った「自分の努力を信じる」という一言は、卒業してからもいろいろな場面で私を勇気づけてくれることでしょう。

2016年3月10日
3年E組 大塚 歩

相手や目的を意識する

効果的な書き方を工夫する

楽

身のまわりの文字に関心をもつ

じつくり取り組む
毛筆課題は、学習事項に沿った練習のための解説を付し、見開きで示しています。



『中学生の書写』の5つのポイント

考えることを大切にしたい書写教育を目指して

学びを生活や他の学習にひらくために

● 広島大学大学院 松本仁志

考えなければ身につかない

「教材を書写させると抜群に上手いが、ふだんの文字は拙い。」

よく耳にする言葉である。これは指導の失敗を意味している。《生活に役立つ書写の力を育成する》という国語科書写のねらいが達成できていないからである。この生徒は、模倣は上手だが、手本に内在する字形の原則に気づいていないのだろう。

もちろん、模倣にも学習効果はある。しかし、模倣することと原則に気づくことには大きな違いがある。模倣には図形認識的な力が発動し、原則の発見には類型化の思考が働く。図形認識の力で書写力を向上させるには、仮名全てと少なくとも常用漢字全ての手本が必要になるが、類型化の思考を使えば、一つの文字の学習で、多くの文字について向上が期待ができる。

考える授業のしくみ

ここで、『中学生の書写』の紙面をご覧いただきたい。それぞれの教材は次のような流れで構成されている。(1)

・まず、「なぜ速く書けるのだろう」と問いかけている。生徒は考えることで自ら技能の存在に気づく。

・次に、課題文字を提示している。生徒は、実際に書くことで、自らの気づきを確かめ、技能として習得する。

・同時に、字形・筆順の原則にそって他の文字も提示している。習得した技能の応用の可能性を感じることができる。

また、単元のまとめである「学習を生かそう」では、手本を見ずに字を書く課題(2)を数パターン用意している。

いずれも、原則に照らして考える活動を経た後に書く、という構造になっている。生徒

が主体的に課題に取り組み課題解決的な思考の流れを、『中学生の書写』は保障している。

運用する授業のしくみ

さて、一つの文字を練習するのは異なり、日常生活や他の学習活動における書字場面(手紙を書く、報告書を書くなど)には、たいてい相手(読み手)や目的がある。そうした相手や目的にふさわしい書き方や筆記用具を判断する力も求められている。これは、国語科書写のねらいとして新しく掲げられた《我が国の伝統的な文字文化やこれからの社会に役立つ様々な文字文化に関する認識及びそれらに親しむ態度の育成》にも密接にかかわってくる。これについては12〜13ページで触れているが、このような、書写技能を統合的に運用する力も実践的に身につけられるよう、『中学生の書写』は教材設定を工夫している。日常の書字活動の場面を想定した課題は、書写の時間に限らず、国語科の授業やさまざまな



まつもと ひとし／広島大学大学院教育学研究科准教授。書写のカリキュラム開発に専心。平成23年度から施行される小学校の学習指導要領で文字と書写に関する事項の解説執筆を担当。

① 課題解決的な思考の流れ(全学年共通)

① 学習目標に自ら気づく
「なぜ? どうして?」からスタート

① 点画が連続する(筆脈の連続・直接連続)
考えよう・話し合おう

連続させると、なぜ速く書けるのだろうか。

1 画がないところに連続線が出る場合(筆脈の連続)

2 画の終わりと次の画の始めが直接つながる場合(直接連続)

「気づいたことをまとめよう」

1 画めと2画めがつながる。

次の画への最短距離を通る。

全部つなぐと読みにくくなるので注意が必要です。



② 主体的に練習する
気づいたこと(規則性)に焦点をあてた練習で確かな技能習得を図る

③ 学びを振り返る
観点を明確にして自己評価・相互評価を行う

観点 筆脈の連続・直接連続

毛筆で確かめよう ↓ 32ページ

◆直接連続◆

久元	
光	
灰	
名	

◆筆脈の連続◆

川	
王	
月	
則	

気づきを生かして書こう

確かめ合おう

17

まな学校行事の一環として扱うことも有効である。書写の時間を飛び出して文字の学びを楽しむチャンスを生徒に与えてほしい。

「考えること」を大切にしたい教科書

〈生活に役立つ書写の力〉が単なるスローガンで終わらないように、『中学生の書写』では「なぜ? どうして?」という問いを大切に、「考えること」を大切にしたい学びの過程を留意している。

② まとめの教材

手本を見ずに書く課題。
リンクマークで示されているページに字形例があるので、書いた後で確認することができる。

◆a 曲線化◆

1 行書の特徴を確かめながら、共通する部分をもつ漢字を
行書で書こう。

育 朗 古 若

36ページ

育	古
朗	若

『中学生の書写』の5つのポイント

基礎習得における毛筆学習の重要性

毛筆のチカラ

●香川大学 小西憲一

毛筆と文字

文字が（漢字も仮名も）毛筆によって生まれ育ってきたということは、現代の中学生には思いもよらないことだろう。まず手書きの文字があつて、そのあとに活字ができたのだということが信じてもらえるだろうか。それどころか、文字は「書く」ものではなく「打つ」ものであるといった日常が、子どもの世界にも押し寄せてきている。

それでも、**きれいな字を書きたいという子どもの願いは変わらないに違いない**。この願いに少しでも応えられたとき、書写は魅力あるものになっていくのだろう。

文字は毛筆によって生まれ育ってきた。文字を整えて書くための方法は、毛筆で練習することで理解できる面が少なからずある。少々遠回りにみえても、毛筆の性能を知り、毛筆で学ぶ意味を理解するところから始めたい。

毛筆と行書

毛筆を扱う上でもっとも大切なことは、毛の弾力を感じ取るということである。毛筆は、垂直方向から押さえると、跳ね返す力が働く。この弾力を使うことによって、毛筆をコントロールできる。たとえば「払い」や「はね」の終筆は、弾力を感じながら徐々に力を抜いていくと一点にまとまる。

毛筆の弾力を必要とする最たる例が、行書の筆使いである。(1)行書の特徴である〈点画の連続〉は、ただずるずる続けて書けばよいのではない。毛筆の弾力に気を配り、強弱・緩急のリズムによって書き進めていくものがある。

大学生の授業で、何文字かを行書で書くことを求めると、「知識がないから書けない」と言う学生がいる。なるほど〈直接連続〉や〈点画の省略〉は、習慣化された歴史的な書きぶりの知識が必要であろう。しかし、〈点画の曲



こにし けんいち／香川大学教育学部教授。教員養成課程にあつて、書写書道の楽しさを伝えられる教員の育成に専心する。専門は近代篆刻史および篆刻制作。

線化〉や一般的な〈筆脈の連続〉は、運動の理解であつて、知識によるものではない。中学校の書写では、毛筆で練習することによって、行書の運動面（リズム感）をまず体得することが望ましい。その上で〈直接連続〉や〈点画の省略〉のパターンに少しずつ習熟していけばよいだろう。

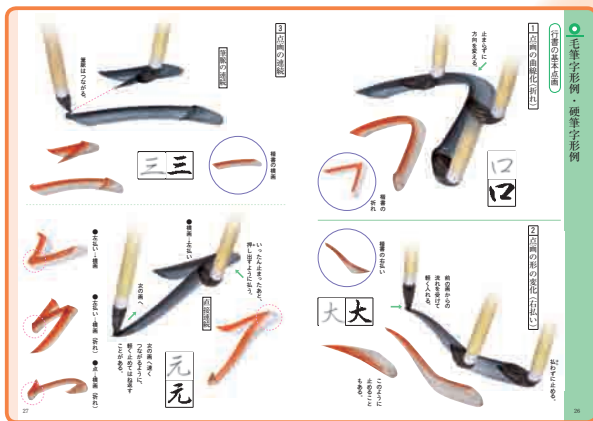
書写の授業

『中学生の書写』では、毛筆字形例を後半部にまとめて掲載している。(2)一つの毛筆字形例に二ページを使い、豊富な図解で充実した毛筆学習ができるように工夫した。これは一方で、硬筆中心の授業にも対応できるようにとの工夫でもある。

また、毛筆自体に抵抗感を持つ生徒が多いのが現状である。ときには教科書から離れ、好きな言葉や歌詞を毛筆で書かせるなど、生徒にとって、毛筆が少しでも魅力的な筆記用具となるように工夫していきたい。

① 行書の基本点画 (第二・三学年)

朱墨と淡墨を使って、筆圧やリズムをわかりやすく図解。



② 『中学生の書写』の構成

目次

- ① さあ始めよう 2
- ② 楷書の書き方を確かめよう 4
- ③ 仮名を交えて書こう 14
- ④ 漢字を速く書こう 20
- ⑤ 学習のまとめ 30
- 書き初め 53
- 毛筆字形例・硬筆字形例 22
- 楷書の基本画 26
- 毛筆字形例 24
- 和音 28
- 思いやり 32
- 元気 34
- 未来 36
- 自由 40
- 百由 42
- 未来 44
- 小学校で学習した漢文楷書行書 45
- ⑥ 心を届けよう 38
- ⑦ 文字の異なる世界と触れ合おう 40
- ⑧ 文字の異なる世界と触れ合おう 42
- ⑨ 字形を変えるための方法 44
- ⑩ レポートの書き方 44
- ⑪ 小学校で学習した漢文楷書行書 45
- ⑫ 注意が必要な書写 43
- ⑬ 臨用紙の使い分け 44
- ⑭ レポートの書き方 44
- ⑮ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

① 点画が変化する形の变化・方向の変化

② 点画の方向が変化する形の場合

③ 点画の形が変化する形の場合

④ 点画の形や方向が変わるために、なぜ速く書けるのだろうか。

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

① 心を届けよう 38

② 文字の異なる世界と触れ合おう 40

③ 文字の異なる世界と触れ合おう 42

④ 字形を変えるための方法 44

⑤ レポートの書き方 44

⑥ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

⑦ 注意が必要な書写 43

⑧ 臨用紙の使い分け 44

⑨ レポートの書き方 44

⑩ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

⑪ 注意が必要な書写 43

⑫ 臨用紙の使い分け 44

⑬ レポートの書き方 44

⑭ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

⑮ 注意が必要な書写 43

⑯ 臨用紙の使い分け 44

⑰ レポートの書き方 44

⑱ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

⑲ 注意が必要な書写 43

⑳ 臨用紙の使い分け 44

㉑ レポートの書き方 44

㉒ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

㉓ 注意が必要な書写 43

㉔ 臨用紙の使い分け 44

㉕ レポートの書き方 44

㉖ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

㉗ 注意が必要な書写 43

㉘ 臨用紙の使い分け 44

㉙ レポートの書き方 44

㉚ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

㉛ 注意が必要な書写 43

㉜ 臨用紙の使い分け 44

㉝ レポートの書き方 44

㉞ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

㉟ 注意が必要な書写 43

㊱ 臨用紙の使い分け 44

㊲ レポートの書き方 44

㊳ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

㊴ 注意が必要な書写 43

㊵ 臨用紙の使い分け 44

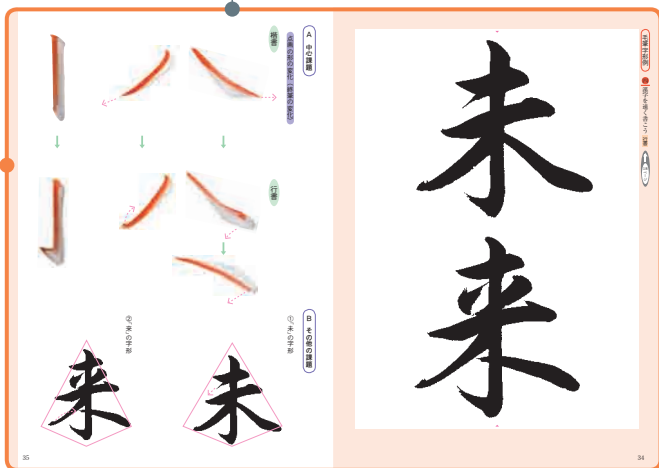
㊶ レポートの書き方 44

㊷ 小学校で学習した漢文楷書行書 45

㊸ 注意が必要な書写 43

㊹ 臨用紙の使い分け 44

㊺ レポートの書き方 44



リンク
毛筆課題は、後掲すること
でスペースを確保し、必要
な情報を採録。

『中学生の書写』の5つのポイント

行書学習の意義

行書学習の入り口と出口

●安田学園安田小学校 新田直美

中学校書写における行書学習の重要性

生徒に「行書とは？」と質問すると、「大人の人の書く続け字」とか「くずし字」という答えが返ってくる。一般に「楷書をくずした文字が行書である」という認識があるようだが、行書と楷書はほぼ同時期に生まれた書体であり、歴史的には誤った認識である。しかし、今日の学校教育においては、生徒が理解しやすいように、ふだん使用している楷書の速書形という位置づけで行書指導が行われている。行書は、書写学習のねらいとする「読みやすさ」と「速さ」の二つの条件を満たす効率の良い書体であり、日常の書字に関わる重要な指導事項である。

現在の義務教育では、行書学習の機会中学校の三年間だけである。したがって、中学校書写における行書学習が、生涯にわたる文字活用を大きく左右すると言っても過言ではない。このことをしっかりと認識し、書写授

業の充実を目指したい。

楷書から行書への導入の工夫

生徒にとって、行書は初めて学ぶ書体である。新鮮な学習意欲を大切に、抵抗感なく取り組めるように指導を工夫したい。行書に対する期待感と興味・関心の高い導入期は、書写への苦生意識や、自分の文字に対する嫌悪感を払拭する絶好のチャンスでもある。

行書の特徴である曲線的で柔らかい線やリズムカルな運筆は、姿勢・執筆と密接な関係がある。また、楷書に比べて筆路が明快になるだけでなく、筆順が変化する文字もあるのだ。楷書学習の振り返りを確実に行った上で、

行書学習への導入を図ることが大切である。『中学生の書写』では、小学校書写での楷書

学習を総括することによって、楷書を速く書くことによって必然的に現れる行書の特徴を体感認識し、その上で行書を学ぶ必要性に思いが至るように工夫してある。(1)身のまわ

りにある行書例を示す、あるいは名前を行書体で書かせるなど、行書への興味をさらに広げたい。

中学行書学習のねらいと意義

行書には幾つかのルールがあり、このルールを系統的・段階的に理解することが鍵となる。『中学生の書写』は、「一年」で行書の基礎的要素のうち〈点画の曲線化〉〈点画の連続〉〈点画の形や方向の変化〉を、「二・三年」で〈点画の省略〉〈筆順の変化〉と行書に調和する仮名の書き方を配し、それぞれ無理なく着実に学習できる構成としてある。

生活の中にあるさまざまな書字場面で、相手が目的にふさわしい書体を判断する力や、豊かで幅広い運用能力を身につけることが、中学校の行書学習の最終的な目標となろう。

(2)

中学校書写での授業展開が、身のまわりの多様な文字に目を向ける契機となり、わが国



につた なおみ／安田学園安田小学校、安田女子大学での児童、学生の指導のほか、書道教育団体での手本の執筆や実技指導、書写教育研究会での書写学習の推進など、実践の場を中心に活動。専門は硬筆書写。

① 行書の導入(第一学年)

速さを意識して、実際に文字を書く。
ただ速く書くだけでは字形がくずれて
読みにくくなることを体感する。

四

漢字を速く書こう 行書

① 速く書く文字の形はどのようなものか
行書の基礎的な特徴を理解して書こう

① 折れこりと
ていねいに

② 手移し以内で
竹取物語

③ 七移し以内で
竹取物語

④ 四移し以内で
竹取物語



② 次の「竹取物語」は、行書で書かれている。後のA・B・Cの点に注意して、①の②と共通する点や異なる点を話し、例にならって書こう。

竹取物語

(注) ①(折れこり) ②(手移し) ③(七移し)

A 折れこりの形
B 払い・止め・はねの形
C 文字の読みやすさ
速く読みやすく書くために、行書は便利だね、これから書こう。

行書の特徴

- ① 五画以内の文字は、横書き・縦書き
- ② 五画以内の文字は、横書き・縦書き
- ③ 五画以内の文字は、横書き・縦書き
- ④ 五画以内の文字は、横書き・縦書き

速く書いて読みやすい

楷書から行書へ

楷書 → 行書 → 行書

空 → 空 → 空

口	口
元	元
大	大
柱	柱
花	花

花 柱 大 元 口

行書にはいくつかの特徴があることを知り、これからの行書の学習の見通しをもつ。

上段で書いた文字と下段の行書例を比べ、なぜ行書は読みやすいのか考える。

② 楷書と行書を使い分ける(第二学年)

第8回学校図書研究会 記録

テーマ「日本以外の国の子供生活について、体験者の話を聞く。」

日 時 11月1日(水) 15時40分～17時00分

場 所 学校図書館

参加者 59名(1年生19名、2年生27名、3年生13名)

進行 1. オランダの学校生活(2年生 森下沙希さん)
2. シンガポールの生活(権名先生)
3. フリータイム

記録

1. 「オランダの学校生活」 2年生 森下沙希さん
○ 住んでいた場所
① オランダ生田
○ 住んでいた時期
○ 小学校生活の7月から3年間
○ 学校生活で楽しかったこと
・ 同じ年くらいの友達や、何回も話しかけた。
・ オランダ語と英語のほかに、フランス語、ドイツ語など。
・ 特学科目は国語へ特化。
・ 通訳も必要ないし、楽だ。
○ 好きな食べ物
好きな食べ物は「ドイツ、フランス、イタリアなど、ベルギーまで約2時間、フランスまで約5時間。

① 行書の読みやすさを考える

楷書と行書の読みやすさを比べて、なぜ行書は読みやすいのかを話し、例にならって書こう。

「オランダの学校生活」

森下沙希さん

11月1日(水) 15時40分～17時00分

学校図書館

参加者 59名(1年生19名、2年生27名、3年生13名)

進行 1. オランダの学校生活(2年生 森下沙希さん)
2. シンガポールの生活(権名先生)
3. フリータイム

記録

1. 「オランダの学校生活」 2年生 森下沙希さん
○ 住んでいた場所
① オランダ生田
○ 住んでいた時期
○ 小学校生活の7月から3年間
○ 学校生活で楽しかったこと
・ 同じ年くらいの友達や、何回も話しかけた。
・ オランダ語と英語のほかに、フランス語、ドイツ語など。
・ 特学科目は国語へ特化。
・ 通訳も必要ないし、楽だ。
○ 好きな食べ物
好きな食べ物は「ドイツ、フランス、イタリアなど、ベルギーまで約2時間、フランスまで約5時間。



座談会で聞き取りメモをとるときは、速く漏れなく、かつ後から読み直せる字で書きたい。そのメモをもとに正式な記録にまとめるときは、誰にでも読みやすく書くことを心がけたい。目的・読み手・場面に合わせて判断することが大切である。

の伝統的な文字文化の認識や手書きの日常化へとつながること、さらには高等学校での芸術科書道へと発展することを切に願いたい。

「中学生の書写」の5つのポイント

身のまわりの文字への関心と、効果的に書くこと

身のまわりの文字から学び、生かす

●安田女子大学 谷口邦彦

新しい指導事項とその背景

「知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること」を基本的なねらいの一つとして掲げた新しい学習指導要領では、第三学年の書写に関する事項として「身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと」が新たに設けられた。

現代社会において、文字はその筆記法において、電子機器のキーによる入力が多くを占めるようになる等、社会状況の変化に伴って多様になっている。

ただ、社会生活に変化が生じようとも、その都度、相手や目的に応じて文字の書き方を使い分け、工夫してきたのが私たちの伝統的な文字文化と言ってよいだろう。

生徒をとりまく文字文化

新聞や雑誌では、フォントや大きさが異なる

る活字が使い分けられており、街中を歩けば活字・手書きを含めたさまざまな看板を目にする。よく見ると、視覚的な効果を考えてそれぞれ工夫が施されていることに気づく。

生徒たちのこれからの生活を想像してみると、目上の人への手紙では改まった書式と丁寧な書字が求められるだろうし、文書等を作成する際には、パソコンを使ってフォントを選択したり、ときに手書きで文字を加えたりといった場面も出てくるだろう。身のまわりには多くの筆記具があり、パソコンを含め、表現手段の選択幅は広がるばかりだ。

文字の伝達性や表現性などを考えながら、目的や必要に応じて効果的に使い分けるといふ私たちの文字文化は、これからも継承していかなくてはならない。

新しい書写の授業

書写の指導では、字形を正しく整え、配列に配慮して調和よく書く、ということに多く

のエネルギーを注ぐことになる。

しかし、生徒たちが、身につけた知識・技能を日常生活に生かすためにも、身のまわりに使われている活字を含めた文字に関心を持ち、それらがどのように使われているかを知ったうえで、実際に使ってみるという学習プロセスを経ることは重要である。

新しい学習指導要領では、このことが第三学年の指導事項として明示されている。次ページに掲げたのは、そこに対応した教材である。(1)ここで想定しているような活動においては、相手意識や目的意識を明確にする力も欠かせない。これらが機能して初めて、文字を効果的に活用できる書写能力と言えるのである。



たにぐち くにひこ／安田女子大学文学部書道学科准教授。専門は書写書道教育、金石学、漢字書法。中・高教員経験を生かして書写書道の授業に関する実践的な研究を続ける。

1 第三学年の新設単元

五 文字の使い方を工夫しよう 身のまわりの文字

① 文字の使い方の工夫を見つけてよう

考えよう、話し合おう。

1 下のチラシを見て、話し合おう。
ア 次の内容は、それぞれどのような文字で表されているだろうか。
・ ツアーの名称
・ ツアーの料金
・ ツアーの紹介
・ 旅程
・ 問い合わせ先

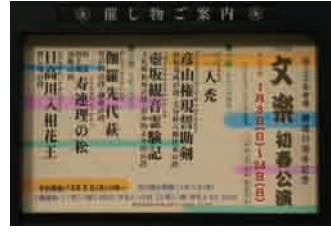
手書き？ 活字？
文字の大きさや書体は？

イ 文字の使い方は、どのように工夫されているだろうか。

ツアー名はなぜこんなに大きな文字なのか？

旅費が手書きじゃないのはなぜかな？

いろいろな書体が使われた看板を見つけたよ。



② 身のまわりの文字を見てみよう。
右下のチラシを見て気づいたことを生かして、身のまわりのものを見よう。
おもしろいと思ったものを紹介し合おう。



箱の中身が
すくにわかるね。



印象がすいぶん違うね。

文字の使い方の工夫について
気づいたことを話し合おう。
・ 文字の種類や色分け
・ 工夫の効果
・ 作り手のねらい

富士山 湖畔ハイキング
6,980円

山梨県富士河口湖エリアをめぐり、散策。ハイキング初心者も安心して楽しめるプランになっています。様々な動物の自然公園では豊富なパンダゲームもご用意いただけます。

● 参加料と参加日
 大人 (7:00～8:00) 6月20日 21日 27日 28日
 小学生 (7:00～8:00) 6月20日 21日 27日 28日
 中学生 (6:30～7:30) 6月20日 21日 27日 28日
 幼児 (7:00～8:00) 6月20日 21日 27日 28日
 期間 (7:00～8:00) 6月20日

● 参加料と参加日
 ● 参加料と参加日
 ● 参加料と参加日

身のまわりの文字にどのような工夫があるか、それらにはどのような目的と効果があるか、話し合う。

身のまわりの文字から学んだ工夫を生かして、お気に入りの本の帯を書く。

① 2本の帯をつくらう

① 学校図書館へ、紹介したい本を選ぶよう。



② 書く内容を考えよう。
どんな人に読んでほしいか、どんなことを伝えたいか、思い描きながら考えよう。
本の装丁とのバランスにも気をつけよう。

③ 紙や筆記用具、文字の工夫を考えよう。
・ 紙の寸法や色
・ 使用する筆記用具
・ 文字の配置や大きさ、書体

④ 下書きを作ろう。
友達にでも読んで、意図が伝わるか確認しよう。

帯をつくらう。

帯の寸法や色、使用する筆記用具、文字の配置や大きさ、書体

帯の寸法や色、使用する筆記用具、文字の配置や大きさ、書体

帯の寸法や色、使用する筆記用具、文字の配置や大きさ、書体

帯の寸法や色、使用する筆記用具、文字の配置や大きさ、書体



本を、帯をつけて取り出し、本の間に挟むための、帯の幅や長さの目安

「中学生の書写」の5つのポイント

書写技能の運用能力を身につける授業

感謝の心を自分の言葉と文字で伝えよう

●長野県立松本深志高等学校 小林比出代



こばやし ひでよ／長野県松本深志高等学校教諭。書写書道教育の分野において、文字を書くこと及びその教育に関し、様々な角度から研究・実践を重ねている。

①三年間のまとめの単元

学習指導要領の、「第二学年」目的や必要に応じて、「楷書又は行書を選んで書くこと」や、「第三学年」身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くことに対応した単元として、これまでに学習したことを生かして考えさせたい。また、「速く書く」力を反映させて、行書でメモ書きさせてもよい。

学習指導要領と書写技能の運用能力

新しい学習指導要領では、中学校三年間の書写の学習を通して、生徒をさまざまな場面で「主体的な文字の使い手」として育て、「文字の伝達性や表現性を考えながら目的や必要に応じて書く」力をつけていくことが要請されている。また、新設された第三学年の「身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くこと」という指導事項や、「文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるように配慮すること」という内容の取扱いにも示されているとおり、授業では、**技能の習得に終始するのではなく、その運用について意識を向けることが求められている。**

授業の組み立てにあたっては、生徒が自分の言葉と文字を大切にしながら、これまで培ってきた書写の技能を日常の場面で生かせるようにしたい。

学習のまとめ

目標 これまでの学習を生かして書く。

●感謝の気持ちを伝えよう

卒業にあたって、中学校生活でお世話になった人に、感謝の気持ちを書いて届けよう。

ありがとうございました!!

3年C組 桑田耕介様

あなたはこの3年間、卓球部の仲間としていつも私を励ましてくれました。初めての試合の前に言ってくれた「自分の努力を信じる!」という言葉は、卒業してからも、いろいろな場面で私を勇気づけてくれることでしょう。

2016年3月10日

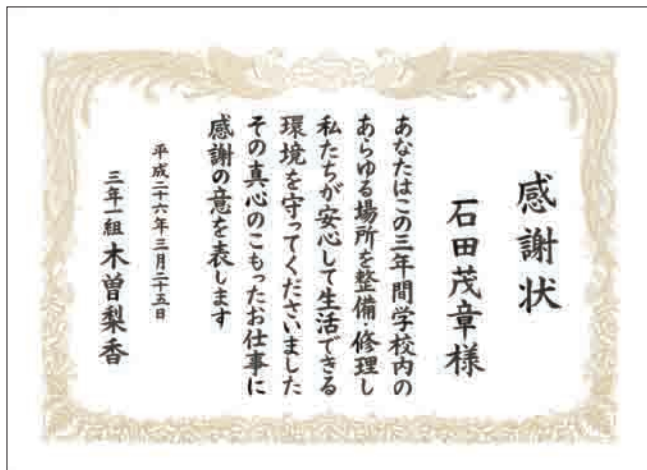
3年E組 大塚 歩

1 誰に渡すか考える。
先生や職員の方
友達
保護者 など

2 用紙と筆記用具を決める。
カードと、サインペンやボールペン
便箋と、万年筆やボールペン
賞状用紙と、筆

3 縦書きか横書きかも決めよう。

感謝の気持ちを文章にする。
・用紙の大きさから、だいたい文字数を確かめておこう。
・しっかり推敲をしよう。



賞状用紙は、あらたまった印象になります。



4

レイアウトを考える。

カード ……読みやすい文字の大きさや配置を
考えて、決めよう。

便箋 ……13ページを見て、文字の大きさや
配置を決めよう。

賞状用紙：25ページを見て、文字の大きさや
配置を決めよう。

5

下書きをする。

レイアウトのとおり到下書きをして、読み
やすく効果的か、気持ちが伝わるか、確認を
しよう。そして、24ページを参考に、文
字の大きさや配置、文章を確定しよう。

6

清書をする。

心をこめていねいに書こう。書きあがっ
たら相手に渡して、感謝の気持ちを届けよう。

(卓球 励ます 環境)

23

・レイアウト

・下書き

・清書

用紙の大きさや形に合わせた字数や書式に整える。
既習の教材や、巻末の「資料編」にあるさまざまな書
式が参考になる。
読みやすさという観点で見直す。(2)
行書で書かせてもよい。
第一学年で学習した楷書や楷書に調和する仮名の
書き方、および配列についての知識・技能を活用し
て書かせたい。相手の顔を思い浮かべながら、一字一
字思いを込めて書く場面である。

②下書きのポイント

次の点に気をつけて下書きを見直し、レイアウトや
文章を決めていこう。

文章

・伝えたいことがわかりやすく書けているか。

レイアウト

・文字の大きさ・文字の配置・字間・行間・行の中心は
読みやすく工夫されているか。
・単語の途中で改行されていて読みにくいのか。

る力を育むことを目指したい。

自分の文字で心を届ける

『中学生の書写』では、三年生（＝三年間）
の学習のまとめとして中学校での生活を修了
するにあたり、お世話になった方への感謝の
気持ちを自分の文字で表し伝える単元を設定
した。(1)

この単元は、上に掲げたように、これまで
培ってきた書写技能を、目的や必要に応じて
十二分に活用できる学習活動となっている。
一字一字心を込めて書いた言葉を通してその
思いが届けられることを、生徒が実感できる
よう願っている。

教育基本法や中教審答申に伝統文化の尊重が明記され、従前に増した各学校段階、各教科での指導が求められることになりました。ここでは、古典から始める国語の授業を提案します。

古文の学びを深め楽しむ

●杉並区立泉南中学校 日高辰人

はじめに

生徒は、音読・暗唱が好きである。小学校での詩歌などの音読・暗唱、中学校入学後も古典作品の音読・暗唱に積極的に取り組んでいる。

二年生の段階では、音読・暗唱に加えて、以下の学習目標で授業を組んでいきたい。

○古典に表れたものの見方や考え方にふれ、登場人物や筆者の思いなどを想像する。

○漢詩の特徴を生かして朗読するなどし、古典の世界を楽しむ。

授業の実際

①一年時の古文の授業を想起させる。

・全員起立して、教師の後を続け読み。

『中学生の国語 学びを広げる 二年』

折込「古典の冒頭二十五選」から『枕草子』と『徒然草』の冒頭を使用。

②本編の学習

※全ての学習材で、行うこと。

・範読↓続け読み(短) ↓続け読み(長)

↓一斉音読

・傍注を使つての内容の確認。

※生徒の実態によって、行うこと。

・班対抗音読スピード競争(早読み)

・授業者と生徒での音読スピード競争

・ペア評価(相互評価)〈資料1〉

・自己評価

ボイスレック等(ICレコーダー)を

使用して自己評価を行う。

・音読・暗唱シート〈資料2〉

・前述の折込等を使用し、「音読暗唱コン

テスト」を行う。

資料1は友人間の評価、資料2は大人(教師・ボランティア・保護者等)の評価。



ひだか たつひと／立正大学大学院修了。著書に『心を育てる敬語指導』『心を育む国語科授業を創る』(ともに明治図書：共著)、『力のつく古典入門学習50のアイディア』(三省堂：共著)などがある。

項目		評価
1	早さや聞の取り方	A B C
2	声の大きさ	A B C
3	表現の工夫(歴史的背景)	A B C
総括 人口 評価		A B C
コメント		
評価者氏名()		

資料1



資料2

資料1を音読、資料2を暗唱等、適宜使用する。

枕草子・徒然草【授業のヒント】

古文では歴史的な仮名遣いの確認と古語の確認を行う。

うつくしきもの

・古語と現代語の違いを意識させるために、「うつくし」を使って短文づくり。

五月ばかり

・作者にとって、山里を歩いていると何が「をかし」なのかを考える。
・学校周辺で春の風景で「をかし」は、どんなことがあるか交流する。

仁和寺の法師

・別冊28ページの橋本治の訳を読む。
・石清水と高良社の位置の確認。
・「先達」が必要だった経験を交流する。

弓の師

・「懈怠の心」がわいた経験を交流する。

漢詩【授業のヒント】

漢詩では漢詩の形式、訓点・送り仮名の確認をする。

黄鶴楼

・ピクチャーカード等を使い「黄鶴楼」「黄鶴

楼伝説」について簡潔に説明。

・「孟浩然と李白の別れ」を『送夏目漱石之伊予』での「漱石と子規」の別れを比較する。

（漱石・子規はともに生徒になじみ深い作家であり、小説『坊ちゃん』の舞台となる伊

予の松山に赴任する漱石の身を案じ、再会にかける子規の気持ちを読み取らせる。）

春望

・春を通して『枕草子』冒頭と比較する。

・『春望』の「国破れて山河あり」／城春にして草木深し」が、三年で学習する『おくのほそ道』に関わり、それは本編後半で学習する『平家物語』の義経に関わることを予告しておく。時間の余裕があれば、両作品を紹介する。

絶句

・「春」関連で『春望』と比較。
・春の景色の色彩的な美しさを読み取り、学校周辺の春の意識の色彩を見つける。（『枕草子』「五月ばかり」で見つけた風景を参考にさせる。）

おわりに

古典を学習させる際、今までは中学校三年間を見通して授業を組み立てていけばよかったが、現段階でも小学校での古典学習（音読を中心とした）は盛んである。中学校段階では小学校で学習した作品をいかに発展させていくかが大切になってくる。授業者の腕の見せどころになってくるのではないだろうか。



第2回

常用漢字になりました。

平成22年11月30日、新しい常用漢字が内閣告示されました。追加された漢字の中から、互いに関係がある3字を取りあげ、成り立ちや変遷をご紹介します。

●早稲田大学 笹原宏之

「食」に関する漢字



ささはら ひろゆき / 早稲田大学教授。博士(文学)。専門は日本語と漢字。文部科学省の常用漢字表改定の委員。編者に『当て字・当て読み漢字表現辞典』など。



『中学生の国語』では、意味や使用場面に応じてグループごとに漢字を学習します。

「どんぶり」は、「どんぶらこ」「どぶん」などと同じ系統の語で、井戸の中に物を落とした時の音でした。「井」の中の「丩」は、「井」の中に物が入った状態を表しています。宋の時代に、中国の南方で俗字がたくさん作られ、その一つに「石」偏に「井」と書く字がありました。これが平安時代に日本で「井」の中に「石」つまり「井」と書いて「どぶり」などと読ませる国字を生み出すきっかけとなったようです。それが江戸時代に入るころに「井」と形を変え、井物が流行したのといまっけて、「丩」が石ではなく美味しい素材と見立てられ、「天井」「親子井」などと使われるようになりました。

【どんぶりめし】
井
飯

【くしやき】

串焼

古代の中国では、肉を炙るための「くし」を「鼎」(セン)という「くし」の本数が二本ある象形文字で表していました。一方、「串」(セン)は、「貫く」という動詞の意味をもつ別の字でした。

昔の朝鮮半島で、「鼎」の「くし」の本数が一本に減らされて、「串」が「くし」として使われたことが分かっています。それが日本に伝来したようで、中国とは異なって「くし」の本数を一本で書くことがすっかり定着して、今回の常用漢字表にも採用されました。

「当用漢字表」を決めた戦後間もない頃は、食べ物に関してあまり贅沢ぜいたくなことを言っではいけない時代でしたが、昨今では、美味しいラーメン屋などがテレビや新聞、雑誌でさかんに取り上げられています。

「めん類」の「めん」は「麵」とも「麺」とも書かれます。本格中華の場合は「麵」とするなど個人の好みによって「麵」を使う場合がありますが、一般には「麦」と「面」が組み合わさっている方が理解しやすいといって「麵」が受け入れられています。ちなみに現代中国では、もっと簡単になつて、「面」だけしか書かなくなっています。

【めんるい】

麵類

👉 次号では、「健康」に関する字を紹介します。

●日本語指導が課題になっている

日本語指導が必要な外国人生徒が在籍する公立中学校は二〇二八校。

これは先ごろ文部科学省が公表した調査の結果である。(調査期日を九月二日現在とし、隔年実施)この調査の目的は、受け入れ体制の充実に資することである。ここで、「受け入れ体制の充実」は、日本語指導を中心に、生徒指導上の配慮、受け入れを活かした教育活動の充実までを含んでいる。

近年における、指導が必要な生徒の増加は、多くの先生方が実感しておられるものと思われる。外国人生徒を受け入れる際に、何が求められるのか。どういう点に配慮することが必要になるのか。こうした点に関する検討が重要になっている。

●カギにぎる指導体制の整備

たまたま、本稿執筆の前日に稿者が訪問した小学校では、学校運営重点の一つに「帰国・外国人児童受け入れの取組」を据え、金曜日午後、土曜日午前中に学年別のクラスを設置し、日本語補習を行っていた。また、公開された教育活動では、その導入において、複数の国の外国人児童・帰国児童による母国語による挨拶が紹介され、学習活動への興味・関心喚起の役割を果たしていた。

外国人児童・生徒の受け入れに関しては、全般的に

2028校

日本語指導が必要な外国人生徒が在籍する公立中学校数

は、日本語指導体制の整備などの配慮がなされているが、現状では地域や学校によって、取り組みの差が認められる。

外国人生徒の在籍する中学校では、生徒の立場に立つての実態把握に基づき、生徒を活かす教育活動の展開も含め、指導体制を整えることが大切になっている。

●対応にあたって留意すべきこと

同じく日本語指導が必要といっても、個々の生徒によつて、事情は大きく異なる。母語が異なる。日本語使用能力の程度が異なる。転入前の学習経験、生活経験の違いも見逃せない。

まずは、その生徒の置かれている状況について、保護者などと密接に連絡をとり、きめ細かな把握をすることが必要である。そして、その把握に基づいて必要とされる日本語教育の体制を整える。受け入れ校への適応に必要な措置を講じる。

外国人生徒を交えての教育活動を効果的に行うことは、異文化理解を深め、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた自国と郷土を大切にする心情の育成に役立つに違いない。

その指導・対応に際しては、保護者との協力体制とともに、関係機関や支援をしてくださる方々との連携体制を築き、安心して学べる教育環境作りに向けて、開かれた指導を行いたい。

●『中学生の書写』編集委員

中洑正堯 兵庫教育大学名誉教授
小西憲一 香川大学
小林比出代 長野県立松本深志高等学校
谷口邦彦 安田女子大学
新田直美 安田学園安田小学校
松本仁志 広島大学
三浦和尚 愛媛大学
株式会社三省堂

三省堂の本

国語の力

村田伸宏・「群馬・国語教育を語る会」著



●定価1,995円
(本体1,900円+税)
●B5判 ●160ページ
ISBN 978-4-385-36527-5

学習指導要領の改訂で新設された〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(実践活動)についての実践提案。第4章では、「言語活動を生かした書写の授業」として、多彩な実践を紹介しています。

「書くこと」の学びを支える 国語科書写の展開

松本仁志 著



●定価1,470円
(本体1,400円+税)
●A5判 ●120ページ
ISBN 978-4-385-36417-9

新学習指導要領では、各領域の指導事項を、言語活動例を通して学習するというスタイルを提示しています。「書くこと」の領域の学びを支える書写指導について、その考え方や実践のあり方を提案します。

ことばの学び

平成24年度版
『中学生の書写』教科書特集号

2011年5月25日発行
編集・発行人 北口克彦

●発行所 株式会社 三省堂
〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14
TEL 03(3230)9427〔編集〕
振替 東京 00160-5-54300
三省堂印刷株式会社
〒192-0032 東京都八王子市石川町2951-9

平成24年度版
中学校教科書 Web サイト

<http://tb.sanseido.co.jp/24/>

中学生の国語 指導用デジタルテキスト 平成24年度用

みどころマップ

次の5つ以外にも、朗読を聞くことができたり、本文に線を引くことができたりします。



2 動画資料

「話すこと・聞くこと」の活動例や、古典教材の動画資料が用意されています。

- ①「中学生の国語 指導用デジタルテキスト 一年」を選択
- ②「中学生の国語」を選択
- ③「討論ゲームをしよう」を選択
- ④「参考」を選択
- ⑤「動画資料」を選択
- ⑥見たい動画を選択



4 漢字の解答提示

漢字学習の解答を提示することができます。

- ①「中学生の国語 指導用デジタルテキスト 一年」を選択
- ②「中学生の国語」を選択
- ③「漢字を使いこなそう⑥」を選択
- ④1 問目の問題を拡大
- ⑤「解答」を選択



1 画像資料

筆者や教材に関連する写真やイラストを見ることができます。

- ①「中学生の国語 指導用デジタルテキスト 一年」を選択
- ②「中学生の国語」を選択
- ③「この小さな地球の上で」を選択
- ④「参考」を選択
- ⑤「画像資料」を選択
- ⑥見たい画像を選択



3 辞典資料

国語辞典や漢字辞典など、様々な辞典から語彙の説明を引き出した資料です。

- ①「『故事成語』を使いこなそう」を選択
- ②「参考」を選択
- ③「辞典資料」を選択
- ④見たい語彙を選択



5 筆順アニメーション(新常用漢字対応)

漢字の筆順や部首をアニメーションで見ることができます。

- ①「中学生の国語 指導用デジタルテキスト 一年」を選択
- ②「中学生の国語」を選択
- ③「漢字を身につけよう①・②」を選択
- ④「参考」を選択
- ⑤「漢字の筆順」を選択
- ⑥見たい漢字を選択



平成24年度版中学校教科書Webサイト

<http://tb.sanseido.co.jp/24/>

三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 電話03-3230-9411 (編集)・9551 (営業)

●大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 電話06-6341-2177

●名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-25-43 瑞穂ビル4F 電話052-252-9211・9212

●九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 電話092-531-1531・1532

●札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15丁目2-1 ラスコム15ビル3F 電話011-616-8722

回覧

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--